

(Windows 10 Version)

# Word-2016-03-長文



体系学習★初歩からの PC テキスト

|   |    |
|---|----|
| 第 01 章: タイトルの作成 .....                             | 5  |
| 01 章 01 節… 垂直方向の配置を中央寄せにする .....                  | 5  |
| 01 章 02 節… ページ罫線を設定する .....                       | 6  |
| 01 章 03 節… ページ罫線のオプション .....                      | 8  |
| 01 章 04 節… まとめ .....                              | 9  |
| 01 章 05 節… 練習問題 .....                             | 9  |
| 第 02 章: 段組み(だんぐみ)とセクションの関係 .....                  | 10 |
| 02 章 01 節… 段組みとは? 【概要】 .....                      | 10 |
| 02 章 02 節… 文書全体を段組み化する .....                      | 12 |
| 02 章 03 節… 段区切りの挿入 .....                          | 13 |
| 02 章 04 節… 段区切りを解除する/1 段組みに戻す .....               | 14 |
| 02 章 05 節… 段組みはセクション単位でなされる(理論) .....             | 15 |
| 02 章 06 節… 文書内の一部のみを段組み化する/セクション区切り .....         | 17 |
| 02 章 07 節… ステータスバーにセクション番号を表示させる .....            | 18 |
| 02 章 08 節… 文書内の一部のセクションのみ段組みにする .....             | 20 |
| 02 章 09 節… 段組みを戻す .....                           | 20 |
| 02 章 10 節… ワンタッチで[セクション区切り]→[段組み]をする .....        | 21 |
| 02 章 11 節… 段組みの調整 .....                           | 22 |
| 02 章 12 節… セクションと行送り・行数 .....                     | 24 |
| 02 章 13 節… まとめ .....                              | 25 |
| 02 章 14 節… 練習問題 .....                             | 26 |
| 第 03 章: 箇条書きと段落番号 .....                           | 28 |
| 03 章 01 節… 行頭に箇条書き記号を設定する .....                   | 28 |
| 03 章 02 節… 箇条書き記号の書式設定 .....                      | 29 |
| 03 章 03 節… 特殊な箇条書き記号の採用(Web からイラストをダウンロード) .....  | 31 |
| 03 章 04 節… 箇条書き記号のクリア .....                       | 32 |
| 03 章 05 節… 行頭に段落番号を設定する .....                     | 33 |
| 03 章 06 節… オリジナルの段落番号を作成する .....                  | 34 |
| 03 章 07 節… 箇条書き・段落番号におけるインデントの調整 .....            | 36 |
| 03 章 08 節… [リストのインデントの調整]ダイアログボックスを使う(箇条書き) ..... | 36 |
| 03 章 09 節… [リストのインデントの調整]ダイアログボックスを使う(段落番号) ..... | 37 |
| 03 章 10 節… 段落番号を引き継がせる .....                      | 38 |
| 03 章 11 節… 段落番号と文章の追加 .....                       | 39 |
| 03 章 12 節… {Alt}+{Shift}+{↑ ↓}で段落を入れ替える .....     | 40 |
| 03 章 13 節… まとめ .....                              | 40 |
| 03 章 14 節… 練習問題 .....                             | 41 |
| 第 04 章: スタイル .....                                | 44 |
| 04 章 01 節… スタイルの登録 .....                          | 44 |
| 04 章 02 節… 登録されたスタイルの利用 .....                     | 46 |
| 04 章 03 節… 直接新しいスタイルを登録する .....                   | 46 |
| 04 章 04 節… スタイルの更新 .....                          | 49 |
| 04 章 05 節… スタイルの[変更] .....                        | 50 |

|         |                                 |     |
|---------|---------------------------------|-----|
| 04章 06節 | スタイルに段落罫線/段落網かけを登録する            | 52  |
| 04章 07節 | 「文字」罫線は[変更]で設定できない              | 54  |
| 04章 08節 | スタイル「標準」の変更                     | 56  |
| 04章 09節 | まとめ                             | 57  |
| 04章 10節 | 練習問題                            | 58  |
| 第05章    | ヘッダーとフッター                       | 61  |
| 05章 01節 | ヘッダーとフッターを設定する前の準備              | 61  |
| 05章 02節 | ヘッダーとフッター【概要】                   | 61  |
| 05章 03節 | ヘッダー/フッターの編集                    | 62  |
| 05章 04節 | ヘッダーの編集                         | 64  |
| 05章 05節 | フッターにページ番号を設定する                 | 65  |
| 05章 06節 | ヘッダー/フッターの位置調整                  | 67  |
| 05章 07節 | まとめ                             | 67  |
| 05章 08節 | 練習問題                            | 68  |
| 第06章    | セクションの活用・異なるページ設定を扱う            | 74  |
| 06章 01節 | 複数ページある文書を作成する                  | 74  |
| 06章 02節 | 特定の部分だけページ設定を変更したい              | 76  |
| 06章 03節 | セクションとは【概要】                     | 77  |
| 06章 04節 | ページ設定を変更させたい部分だけを独立したセクションとする   | 79  |
| 06章 05節 | その他のページ設定とセクション                 | 81  |
| 06章 06節 | 文書全体にページ設定                      | 83  |
| 06章 07節 | まとめ                             | 85  |
| 06章 08節 | セクション区切りの使用例【参考資料】              | 86  |
| 06章 09節 | 練習問題                            | 89  |
| 第07章    | セクション単位でのヘッダー/フッター              | 95  |
| 07章 01節 | ヘッダーの性質の確認                      | 95  |
| 07章 02節 | 文書の一部・セクション単位でのヘッダー/フッターの指定【概要】 | 98  |
| 07章 03節 | 指定したセクションだけにヘッダーを作成しようとする       | 99  |
| 07章 04節 | 後ろのセクションで[前と同じ]を解除する(自動コピーの中止)  | 101 |
| 07章 05節 | セクション単位で異なるフッターを使う 1            | 103 |
| 07章 06節 | セクション単位で異なるフッターを使う 2            | 105 |
| 07章 07節 | ヘッダーに図形・ワードアートを採用する             | 106 |
| 07章 08節 | ヘッダーに使用しているワードアート/図形を動かす        | 107 |
| 07章 09節 | まとめ                             | 108 |
| 07章 10節 | 練習問題                            | 109 |
| 第08章    | 目次と見出しレベル                       | 116 |
| 08章 01節 | 目次の対象とする段落を見出しにする               | 116 |
| 08章 02節 | 目次の更新                           | 120 |
| 08章 03節 | 見出し 2 を小見出しにする                  | 121 |
| 08章 04節 | 目次の再設定                          | 122 |
| 08章 05節 | 見出しスタイルを更新する(スタイルの復習)           | 123 |
| 08章 06節 | アウトライン表示から見出し 1 単位で文面を入れ替える     | 125 |

|   |     |
|---|-----|
| 08章 07節… 目次スタイルの変更 .....                        | 127 |
| 08章 08節… 行の高さを最小値に：「標準」スタイルで行送りを無視させる .....     | 129 |
| 08章 09節… 見出し1の前で自動改ページさせる .....                 | 131 |
| 08章 10節… まとめ .....                              | 132 |
| 08章 11節… 練習問題 .....                             | 133 |
| 第09章: アウトラインと段落番号 .....                         | 143 |
| 09章 01節… 準備と目標：自動的に振りなおされる段落番号を設定したい .....      | 143 |
| 09章 02節… アウトライン/見出しと支配下/自動番号(理論) .....          | 145 |
| 09章 03節… 行の高さを最小値に：「標準」スタイルで行送りを無視させる(復習) ..... | 147 |
| 09章 04節… 大見出しと小見出しの設定/アウトライン番号の設定(操作) .....     | 149 |
| 09章 05節… アウトライン番号の定義を変更する .....                 | 152 |
| 09章 06節… [アウトライン表示]で見出しレベルをすばやく設定する .....       | 153 |
| 09章 07節… レベル3以下のアウトライン番号を調整する/番号書式の原理 .....     | 155 |
| 09章 08節… アウトラインに対応した文章の追加 .....                 | 157 |
| 09章 09節… {Alt}+{Shift}+{↑↓}キーで段落の入れ替え(復習) ..... | 158 |
| 09章 10節… アウトライン表示にてボタンを使って段落を入れ替える(復習) .....    | 159 |
| 09章 11節… 見出し単位で内容ごとに入れ替える(復習) .....             | 160 |
| 09章 12節… アウトラインモードにおける段落番号の位置調整 .....           | 161 |
| 09章 13節… アウトライン番号とインデント .....                   | 162 |
| 09章 14節… まとめ .....                              | 165 |
| 09章 15節… 練習問題 .....                             | 166 |

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
  - ◆ Version No.:word-2016-03-長文-161211
  - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ  
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
  - ◆ 発行人 三橋信彦
  - ◆ 定価 ー円

## 第01章:タイトルの作成

左右・横の中央揃えを設定するには[中央揃え]ボタンを使えばよい。  
 上下・縦の中央寄せをするにはどうすればよいか？

### 01章01節…垂直方向の配置を中央寄せにする

(01)以下のような文書を作成しましょう。A5 横向き・余白には「狭い」を採用しています。  
 フォントサイズは「72」pt・中央揃えにしています。



(A5 横向き・余白は「狭い」)

(02)このページ内の文字は横方向(水平方向)には中央に寄っていますが、縦方向(垂直方向)には上寄せになっています。垂直方向の寄せ位置を指定するには[ページ設定]を使います。【レイアウト】タブから[ページ設定]を実行してください。



(03)【その他】タブの[垂直方向の配置]を「中央寄せ」にしてから OK してください。



(04)垂直方向において中央寄せになりました。



## 01章02節…ページ罫線を設定する

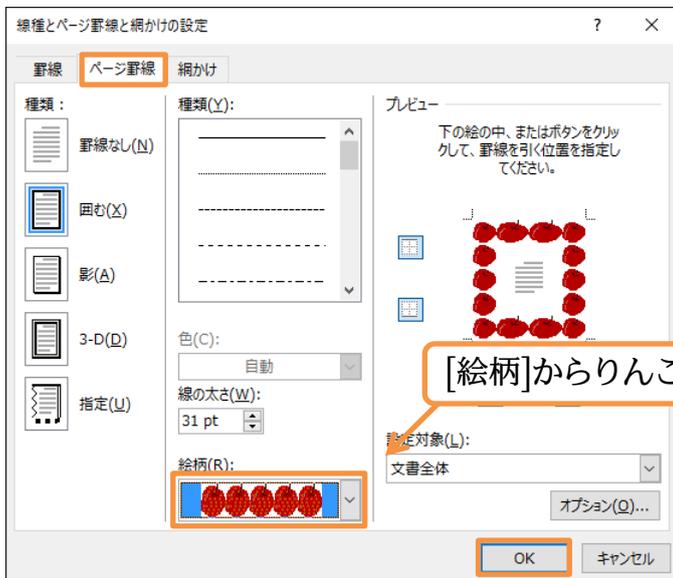
(01)[ページ罫線]とはページ全体を罫線や絵柄で囲む機能です。

【デザイン】タブの[ページ罫線]をクリックしてください。



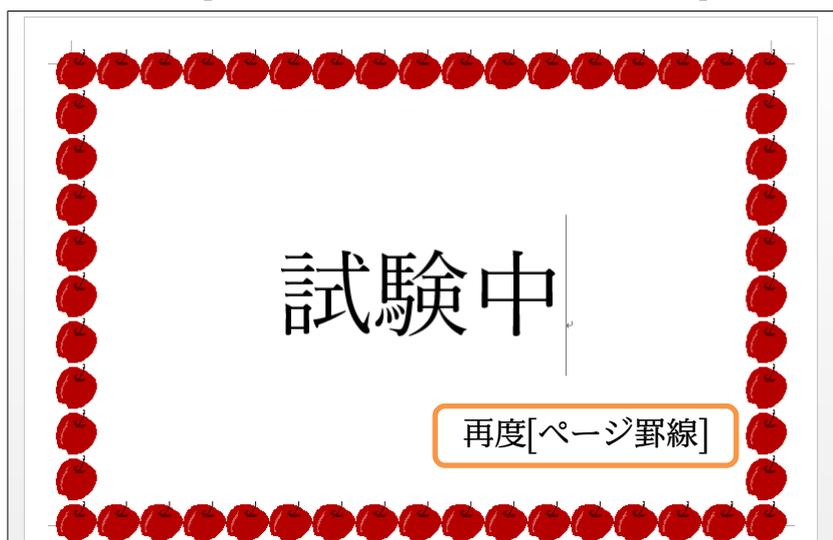
(02)[線種とページ罫線と網かけの設定]ダイアログボックスが表示されます。

【ページ罫線】タブになっていることを確認して[絵柄]からりんごの絵を選びましょう。  
設定後は OK します。

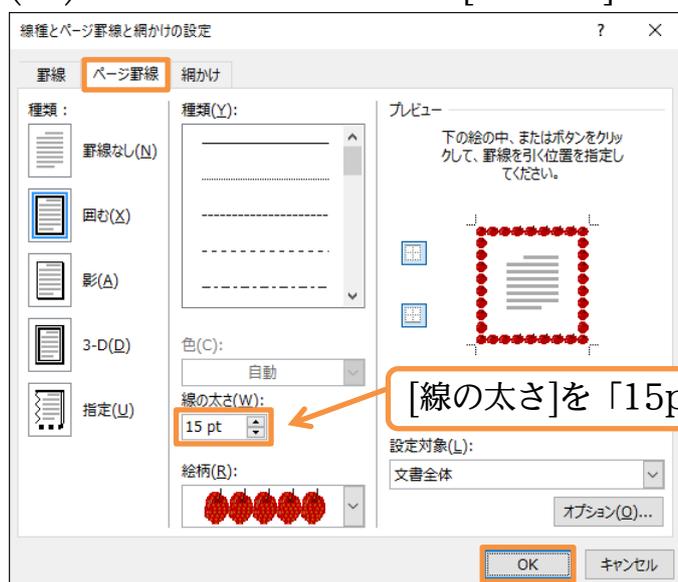


(03) ページ罫線が適用されました。次はページ罫線の太さを調整します。

もう一度[線種とページ罫線と網かけの設定]ダイアログボックスを表示してください。



(04) 絵柄の太さを変更します。[線の太さ]を「15pt」にしてください。



(05) ページ罫線が細くなりました。

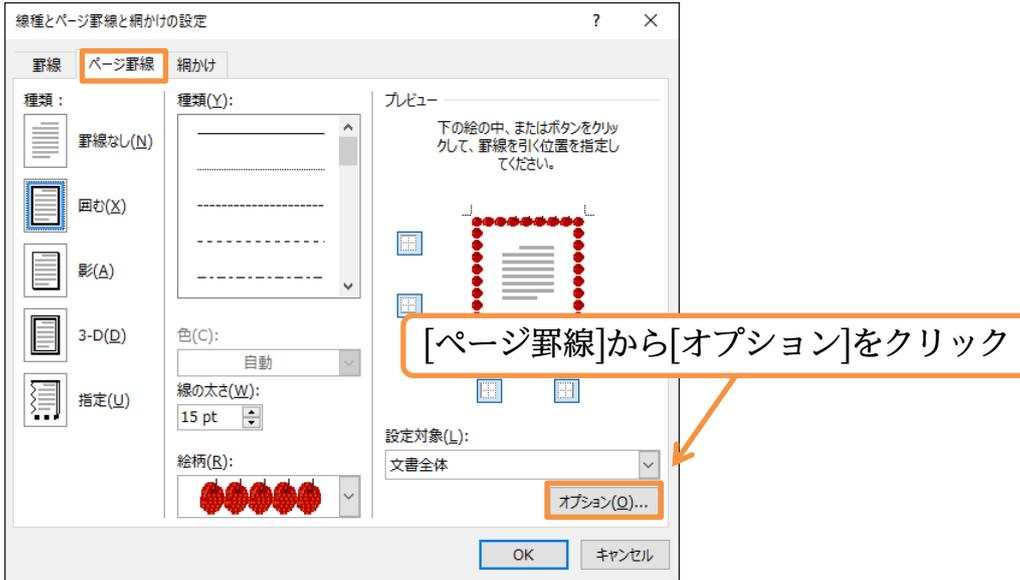


## 01章03節…ページ罫線のオプション

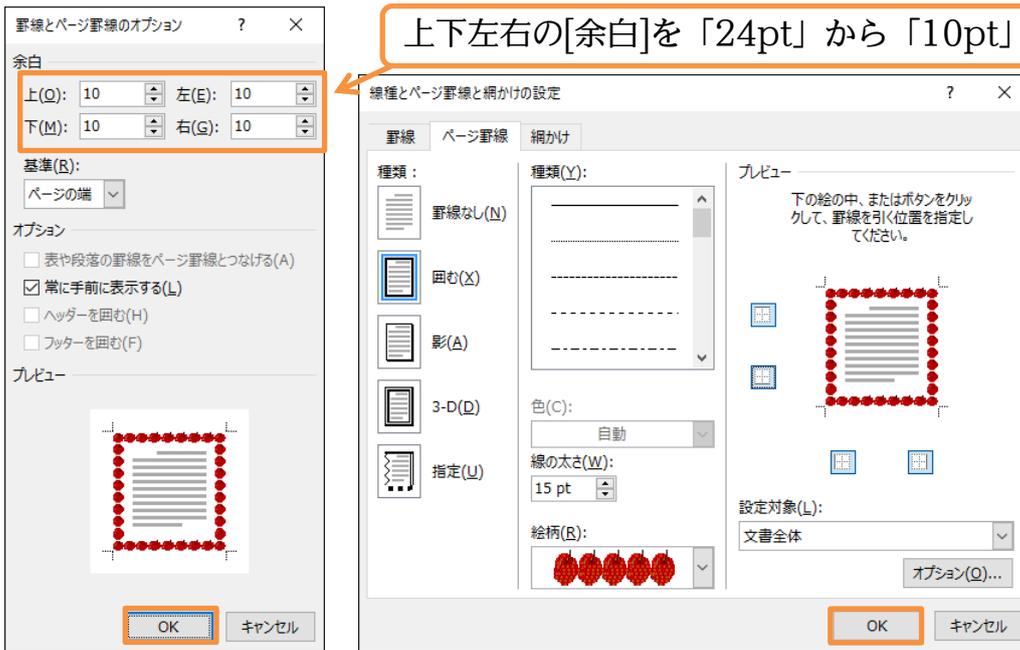
(01) ページ罫線を紙の端へと移動させる予定です。

再度[線種とページ罫線と網かけの設定]ダイアログボックスを表示してください。

ここで[オプション]を使うとページ罫線の位置を変更できます。クリックしましょう。



(02) 上下左右の[余白]を「24pt」から「10pt」にし、OK しましょう。ページの端から 10pt の距離に罫線が配置されるようになります。設定後は OK します(次の画面でも)。



- (03) ページ罫線が、より外側に配置されるようになりました。  
 完成後はこのファイルを閉じましょう(必要に応じて保存)。



### 01章04節…まとめ

- ◆ [ページ設定]を使うことで用紙に対して垂直方向に中央寄せをする設定が可能となります。
- ◆ 「ページ罫線」は、ページ全体を罫線・絵柄で囲む機能です。

### 01章05節…練習問題

- ①) 立入禁止：A4 横・余白…上下左右 30mm。予想完成時間⇒ \_\_\_\_\_ 分. 実際⇒ \_\_\_\_\_ 分  
 フォントサイズは 150pt・80%とします。



## 第02章:段組み(だんぐみ)とセクションの関係

辞書や百科事典のように、ページ内を2つや3つなどの段に分割する設定を「段組み」とよぶ。段組みには「2段組み」や「3段組み」がある。

### 02章01節…段組みとは？【概要】

(01)「段組み(だんぐみ)」とは、百科事典・辞書や雑誌記事のようにページを左右のブロックに分け、左の段のあとに右の段を続ける文書形式です。

下記のような文書形式を「2段組み」といいます。

#### スマートメディア

初期のオリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラに採用されていた記憶媒体です。開発元は東芝でした。記憶容量は最大128MB。デジタルカメラの黎明期は、このスマートメディアと後述のコンパクトフラッシュのいずれかを採用していた製品がほとんどでした。しかしながら、大容量化に対応できなかったようで、128MBの製品が最終となりました。

この後、オリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラには、大容量化に対応した、xDピクチャーカードが採用されるようになります。

#### コンパクトフラッシュ

米サンディスクが開発した製品です。CFカードとも呼ばれています。大容量化は現在も続き、2007年2月現在、16GBまでの製品が流通しています。

また、駆動部分を持つマイクロドライブは、コンパクトフラッシュと同様のインターフェースを持っているため、「コンパクトフラッシュ対応デジタルカメラ」には、マイクロドライブが使用できるケースがほとんどです。しかし、マイクロドラ

イブは消費電力が高いため、流通量が減少しています。

コンパクトフラッシュは他のフラッシュメモリと比べ安価であり、転送速度も比較的上位にある製品です。

市場シェアの点ではSDカードに押されていますが、大容量である長所を生かし、デジタル一眼レフカメラのほとんどに採用されています。しかしながら、他のメディアと比べて厚みがあり、大型であることからコンパクトカメラに採用されることは少なくなりました。無論、携帯電話にも採用されていません。これらの小型端末には、コンパクトフラッシュより小型の記憶媒体が採用されるようになっていきます。

#### SDカード

SDメモリーカードとも呼ばれます。SDカードは2GBまでの規格でしたが、現在はその上位規格であるSDHCメモリーカードが流通しています。

これは、最大32GBまでをサポートしている規格です。なお、2007年2月現在においては、8GBまでの製品が流通しています。

SDカードの強みは、コンパクトフ

(2段組みの例)

(02)「3 段組み」になると、左・中央・右の順に段が続きます。

新聞や国語辞典は「縦書きの段組み」であるといえます。

|   |   |  |                      |                      |
|---|---|--|----------------------|----------------------|
| <p><b>スマートメディア</b></p> <p>初期のオリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラに採用されていた記憶媒体です。開発元は東芝でした。記憶容量は最大 128MB。デジタルカメラの黎明期は、このスマートメディアと後述のコンパクトフラッシュのいずれかを採用していた製品がほとんどでした。しかしながら、大容量化に対応できなかつたようで、128MB の製品が最終となりました。</p> <p>この後、オリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラには、大容量化に対応した、xD ピクチャーカードが採用されるようになります。</p> <p><b>コンパクトフラッシュ</b></p> <p>米サンディスクが開発した製品です。CF カードとも呼ばれています。</p> | <p>大容量化は現在も続き、2007 年 2 月現在、16GB までの製品が流通しています。</p> <p>また、駆動部分を持つマイクロドライブは、コンパクトフラッシュと同様のインターフェースを持っているため、「コンパクトフラッシュ対応デジタルカメラ」には、マイクロドライブが使用できるケースが、ほとんどです。しかし、マイクロドライブは消費電力が高いため、流通量が減少しています。</p> <p>コンパクトフラッシュは他のフラッシュメモリと比べ安価であり、転送速度も比較的上位にある製品です。</p> <p>市場シェアの点では SD カードに押されていますが、大容量である長所を生かし、デジタル一眼レフ</p> | <p>カメラのほとんどに採用されています。</p> <p>しかしながら、他のメディアと比べて厚みがあり、大型であることから、コンパクトカメラに採用されることは少なくなりました。無論、携帯電話にも採用されていません。これらの小型端末には、コンパクトフラッシュより小型の記憶媒体が採用されるようになってい</p> <p><b>SD カード</b></p> <p>SD メモリーカードとも呼ばれます。SD カードは 2GB までの規格でしたが、現在はその上位規格である SDHC メモリーカードが流通しています。</p> <p>これは、最大 32GB までをサポートしている規格です。なお、2007</p> | <p>(3 段組みの例)</p>     |                      |
| <p><b>コンパクトフラッシュ</b></p> <p>この後、オリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラには、大容量化に対応した、xD ピクチャーカードが採用されるようになります。</p> <p><b>コンパクトフラッシュ</b></p> <p>米サンディスクが開発した製品です。CF カードとも呼ばれています。</p>   | <p><b>スマートメディア</b></p> <p>初期のオリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラに採用されていた記憶媒体です。開発元は東芝でした。記憶容量は最大 128 MB。デジタルカメラの黎明期は、このスマートメディアと後述のコンパクトフラッシュのいずれかを採用していた製品がほとんどでした。しかしながら、大容量化に対応できなかつたようで、128 MB の製品が最終となりました。</p>  | <p>大容量化は現在も続き、2007 年 2 月現在、16 GB までの製品が流通しています。</p> <p>また、駆動部分を持つマイクロドライブは、コンパクトフラッシュと同様のインターフェースを持っているため、「コンパクトフラッシュ対応デジタルカメラ」には、マイクロドライブが使用できるケースが、ほとんどです。しかし、マイクロドライブは消費電力が高いため、流通量が減少しています。</p>  |                      | <p>(縦書き 3 段組みの例)</p> |
| <p>市場シェアの点では SD カードに押されていますが、大容量である長所を生かし、デジタル一眼レフ</p>  | <p>SD カード</p> <p>SD メモリーカードとも呼ばれます。SD カードは 2GB までの規格でしたが、現在はその上位規格である SDHC メモリーカードが流通しています。</p> <p>これは、最大 32GB までをサポートしている規格です。なお、2007 年</p>  | <p>カメラのほとんどに採用されています。</p> <p>しかしながら、他のメディアと比べて厚みがあり、大型であることから、コンパクトカメラに採用されることは少なくなりました。無論、携帯電話にも採用されていません。これらの小型端末には、コンパクトフラッシュより小型の記憶媒体が採用されるようになってい</p>   |                      |                      |
| <p>これは、最大 32GB までをサポートしている規格です。なお、2007 年</p>  | <p>カメラのほとんどに採用されています。</p> <p>しかしながら、他のメディアと比べて厚みがあり、大型であることから、コンパクトカメラに採用されることは少なくなりました。無論、携帯電話にも採用されていません。これらの小型端末には、コンパクトフラッシュより小型の記憶媒体が採用されるようになってい</p>  | <p>カメラのほとんどに採用されています。</p> <p>しかしながら、他のメディアと比べて厚みがあり、大型であることから、コンパクトカメラに採用されることは少なくなりました。無論、携帯電話にも採用されていません。これらの小型端末には、コンパクトフラッシュより小型の記憶媒体が採用されるようになってい</p>   | <p>(縦書き 3 段組みの例)</p> |                      |

## 02章02節…文書全体を段組み化する

(01)以下のような文章を入力してください。

また以下のようにフォントの色を設定してください。

第二学年五・六月度アンケート集計結果

私たち二年生は先日学年全体でいろいろな事項に関するアンケートを作成しました。今回は下記のような結果が出ましたがいかがだったでしょうか。今後も二か月に一回ほど皆さんと一緒にアンケートを実施していきます。

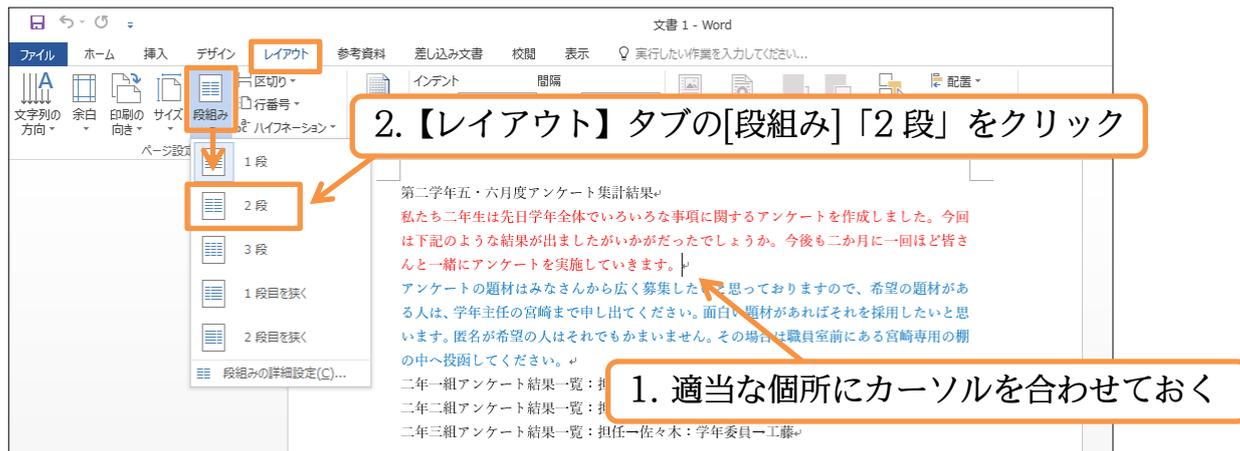
アンケートの題材はみなさんから広く募集したいと思っておりますので、希望の題材がある人は、学年主任の宮崎まで申し出てください。面白い題材があればそれを採用したいと思います。匿名が希望の人はそれでもかまいません。その場合は職員室前にある宮崎専用の棚の中へ投函してください。

二年一組アンケート結果一覧：担任→酒井：学年委員→守屋

二年二組アンケート結果一覧：担任→星野：学年委員→藤

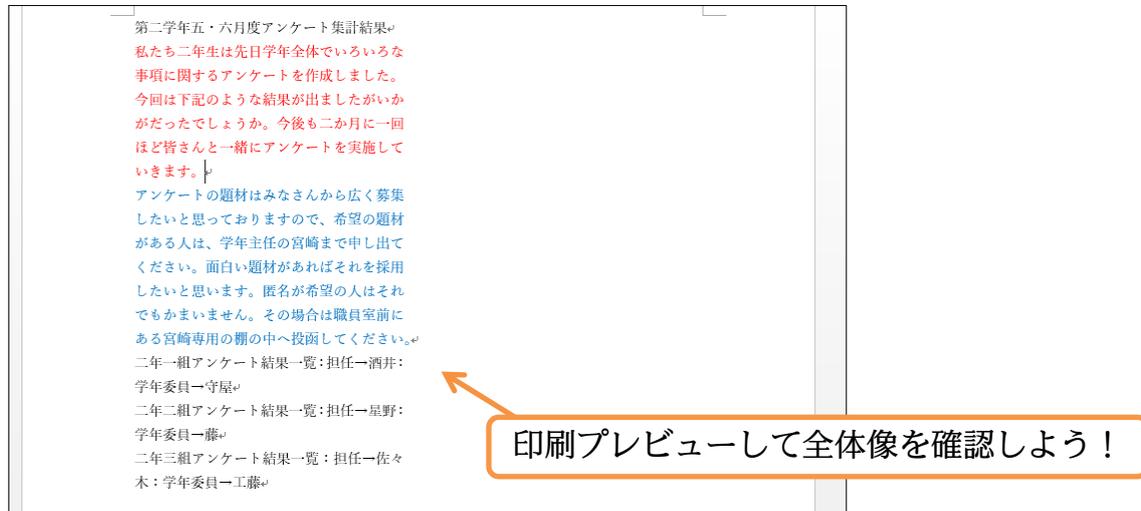
二年三組アンケート結果一覧：担任→佐々木：学年委員→工藤

(02)文書全体を「2 段組み」化します。その場合には「何も範囲選択はしていない」状態にしておきます。適当な個所にカーソルを合わせた状態で【レイアウト】タブの[段組み]「2 段」をクリックします。



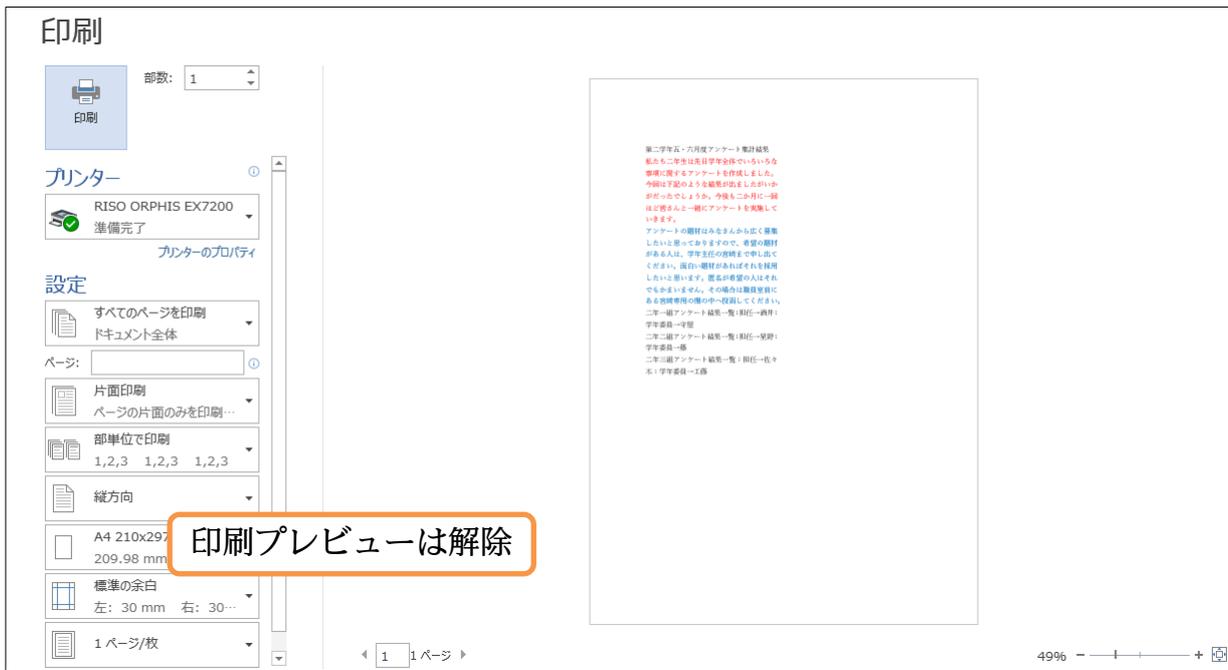
(03)操作後は確かに 2 段組みにはなるのですが、わかりにくい状態になります。

全体像を見るために印刷プレビュー(【ファイル】[印刷])しましょう。



(04)文章量が少ないので左の段に寄ってしまっているのです。

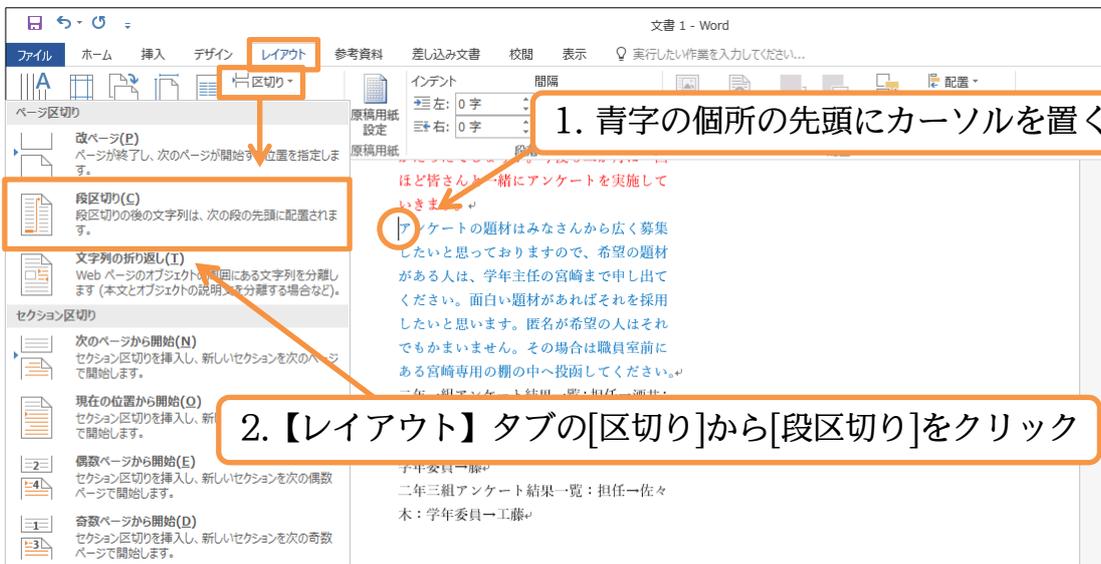
次に青字の部分以下を右の段へ移動させます。印刷プレビューを解除してください。



## 02章03節…段区切りの挿入

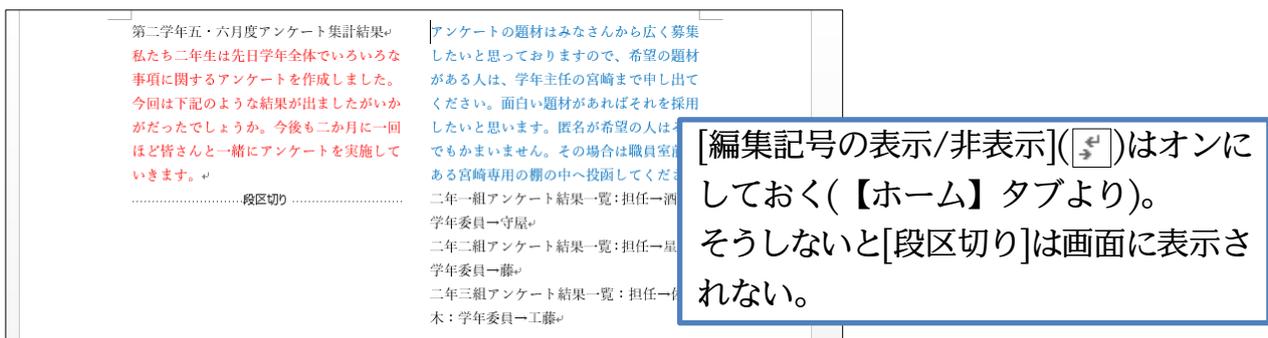
(01)段組み設定をしたあと、ある個所以降を次の段に移動させる命令が「段区切り」です。

ここでは青字の個所以降を右の段に送ります。段区切りをする際には移動させたい個所の先頭にカーソルを置いておきます。その状態で【レイアウト】タブの[区切り]から[段区切り]をクリックします。

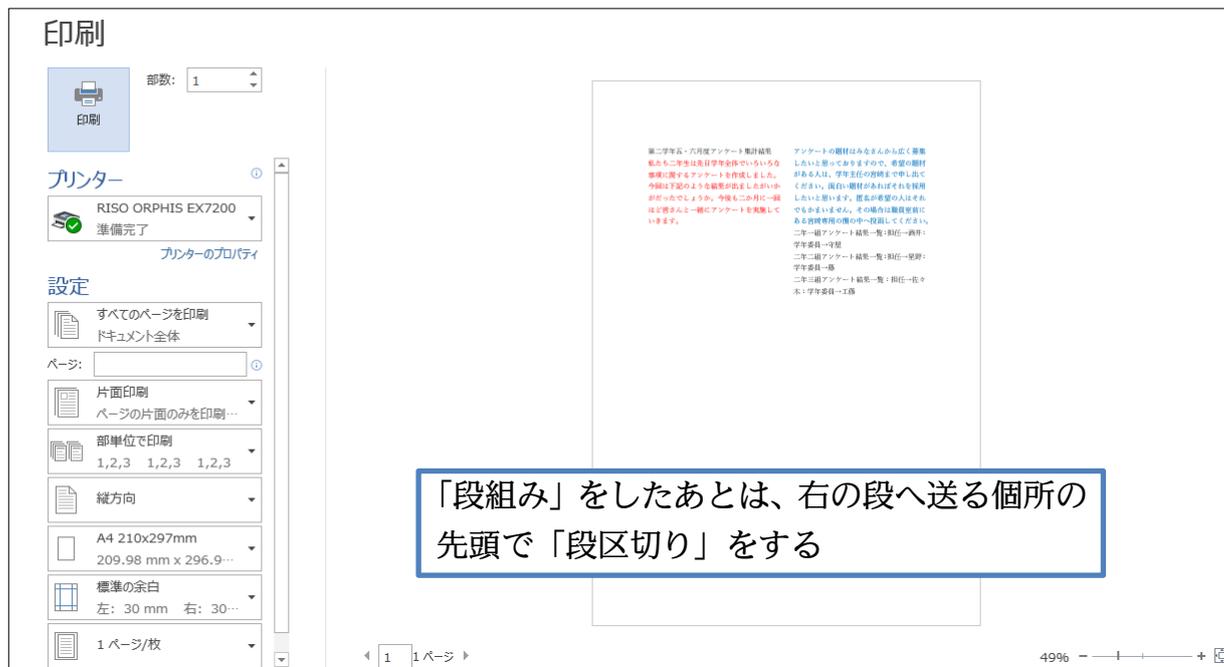


(02)段区切りの効果により、青字の文が右の段(2段目)に送られました。

なお[段区切り]記号は[編集記号の表示/非表示]()をオンにしておかないと表示されません。表示する状態にしておいてください。

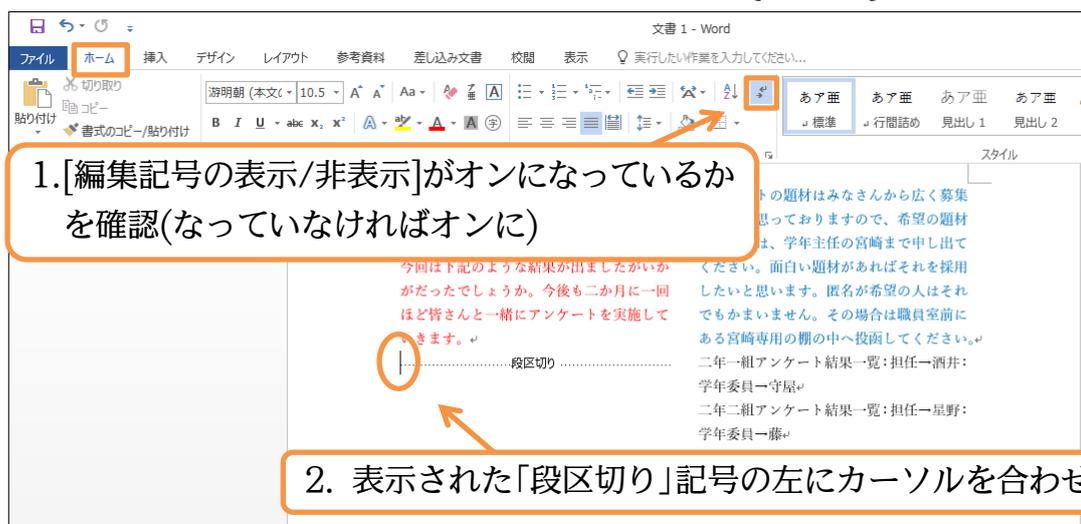


(03)印刷プレビューでも確認してみましょう。確認後は通常の画面に戻します。

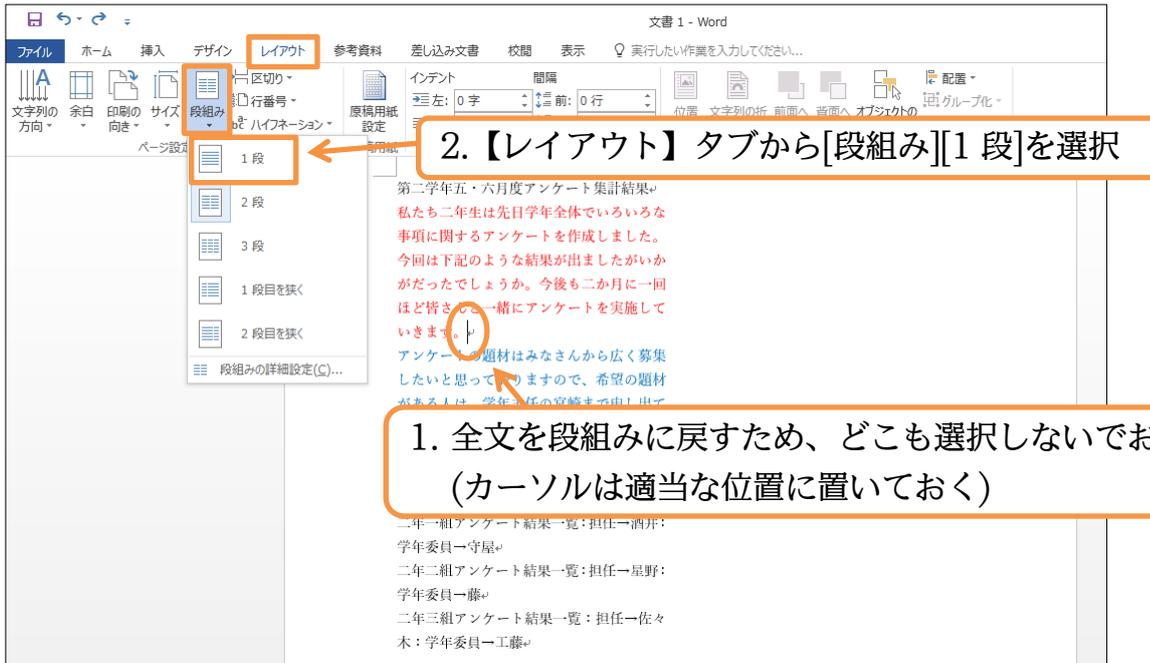


## 02章04節…段区切りを解除する/1 段組みに戻す

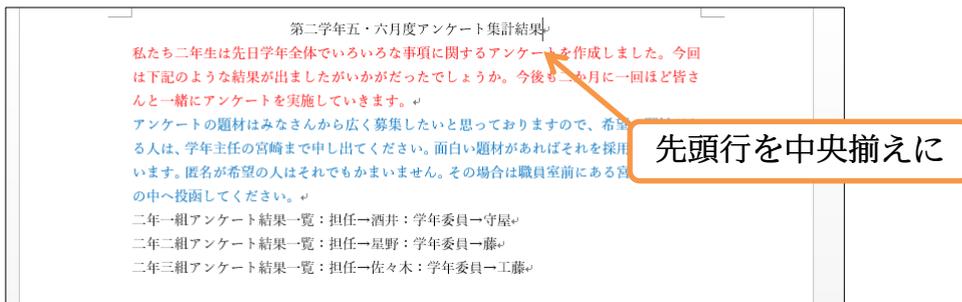
(01)[段区切り]を解除するには、編集記号である「段区切り」記号を削除する必要があります。記号が表示されていないければ、[編集記号の表示/非表示]で表示させる必要があります。表示されていたら「段区切り」記号の左で{Delete}します。



(02)[段区切り]が解除されました。ただし2段組みの設定はそのまま残っていますので1段組みに戻す必要があります。文書内のどこも選択していない状態で【レイアウト】タブから[段組み][1段]を選択してください。



(03)段組みがされていない状態に戻りました。ここで先頭行を中央揃えにしておきましょう。



## 02章05節…段組みはセクション単位でなされる(理論)

今、文書全体を段組み化しました。

第二学年五・六月度アンケート集計結果  
 私たち二年生は先日学年全体でいろいろな  
 事項に関するアンケートを作成しました。  
 今回は下記のような結果が出ましたがいか  
 がだったでしょうか。今後も二か月に一回  
 ほど皆さんと一緒にアンケートを実施して  
 いきます。

アンケートの題材はみなさんから広く募集  
 したいと思っておりますので、希望の題材  
 がある人は、学年主任の宮崎まで申し出て  
 ください。面白い題材があればそれを採用  
 したいと思います。匿名が希望の人はそれ  
 でもかまいません。その場合は職員室前に  
 ある宮崎専用の棚の中へ投函してください  
 二年一組アンケート結果一覧：担任→酒井：  
 学年委員→守屋  
 二年二組アンケート結果一覧：担任→星野：  
 学年委員→藤  
 二年三組アンケート結果一覧：担任→佐々  
 木：学年委員→工藤

今度は赤字と青字の部分だけを2段組みにする予定です。  
どのようにすればよいのでしょうか？

#### 第二学年五・六月度アンケート集計結果

私たち二年生は先日学年全体でいろいろな  
事項に関するアンケートを作成しました。  
今回は下記のような結果が出ましたがいか  
がだったでしょうか。今後も二か月に一回  
ほど皆さんと一緒にアンケートを実施して  
いきます。

アンケートの題材はみなさんから広く募集  
したいと思っておりますので、希望の題材  
がある人は、学年主任の宮崎まで申し出て  
ください。面白い題材があればそれを採用  
したいと思います。匿名が希望の人はそれ  
でもかまいません。その場合は職員室前に  
ある宮崎専用の棚の中へ投函してください

二年一組アンケート結果一覧：担任→酒井：学年委員→守屋

二年二組アンケート結果一覧：担任→星野：学年委員→藤

二年三組アンケート結果一覧：担任→佐々木：学年委員→工藤

段組みは、そのままだと文書全体に対して設定されます。

しかし文書を「セクション区切り」という区切り記号により「セクション」という単位で分けられた状態にすれば、独立したセクションに対してのみに段組み化の設定をすることができるのです。

段組みは「セクション」単位でも設定可能なのです。

今回は赤字と青字の部分のみ独立したセクションとし、そこを段組み化します。

#### 第二学年五・六月度アンケート集計結果

私たち二年生は先日学年全体でいろいろな  
事項に関するアンケートを作成しました。  
今回は下記のような結果が出ましたがいか  
がだったでしょうか。今後も二か月に一回  
ほど皆さんと一緒にアンケートを実施して  
いきます。

アンケートの題材はみなさんから広く募集  
したいと思っておりますので、希望の題材  
がある人は、学年主任の宮崎まで申し出て  
ください。面白い題材があればそれを採用  
したいと思います。匿名が希望の人はそれ  
でもかまいません。その場合は職員室前に  
ある宮崎専用の棚の中へ投函してください

二年一組アンケート結果一覧：担任→酒井：学年委員→守屋

二年二組アンケート結果一覧：担任→星野：学年委員→藤

二年三組アンケート結果一覧：担任→佐々木：学年委員→工藤

セクション区切り

「セクション区切り」を入れれば、上から[セクション 1][セクション 2][セクション 3]となります。そして[セクション 2]だけに「2 段組み」の設定をすればよいのです。次節で実際に操作しましょう。

セクション 1

第二学年五・六月度アンケート集計結果

---

私たち二年生は先日学年全体でいろいろな事項に関するアンケートを作成しました。今回は下記のような結果が出ましたがいかがだったでしょうか。今後も二か月に一回ほど皆さんと一緒にアンケートを実施していきます。

アンケートの題材はみなさんから広く募集したいと思っておりますので、希望の題材がある人は、学年主任の宮崎まで申し出てください。面白い題材があればそれを採用したいと思います。匿名が希望の人はそれでもかまいません。その場合は職員室前

セクション 2

ある宮崎専用の棚の中へ投函してください

---

二年一組アンケート結果一覧：担任→酒井：学年委員→守屋  
二年二組アンケート結果一覧：担任→星野：学年委員→藤  
二年三組アンケート結果一覧：担任→佐々木：学年委員→工藤

セクション 3

## 02章06節…文書内の一部のみを段組み化する/セクション区切り

(01)今回は赤字と青字の部分のみを独立した[セクション]とし、そのセクションを段組み化します。赤字の部分の先頭にカーソルを合わせて【レイアウト】[区切り][セクション区切り・現在の位置から開始]をクリックしてください。

1. 赤字の部分の先頭にカーソルを合わせる

2. 【レイアウト】[区切り][セクション区切り・現在の位置から開始]をクリック

(02)赤字の個所の前に編集記号：「セクション区切り」が入りました。なおこの記号は印字されません。これで赤字の前の文章が「セクション 1」、赤字以下の文章が「セクション 2」となります。

セクション区切りが入った(前後でセクションが分かれた)

(03)今度は青字の文の次の段落以降を別のセクションとします。

カーソルを合わせて「現在の位置から開始」のセクション区切りを入れてください。

1. 青字の文の次の段落の先頭にカーソルを合わせる

2. 【レイアウト】[区切り][セクション区切り・現在の位置から開始]をクリック

(04)このように「セクション区切り」が入り、文書が3つのセクションに分かれたこととなります。

セクション区切りが入った

## 02章07節…ステータスバーにセクション番号を表示させる

(01)ここで画面下部に、カーソル位置のセクション情報を表示させるよう設定してみます。

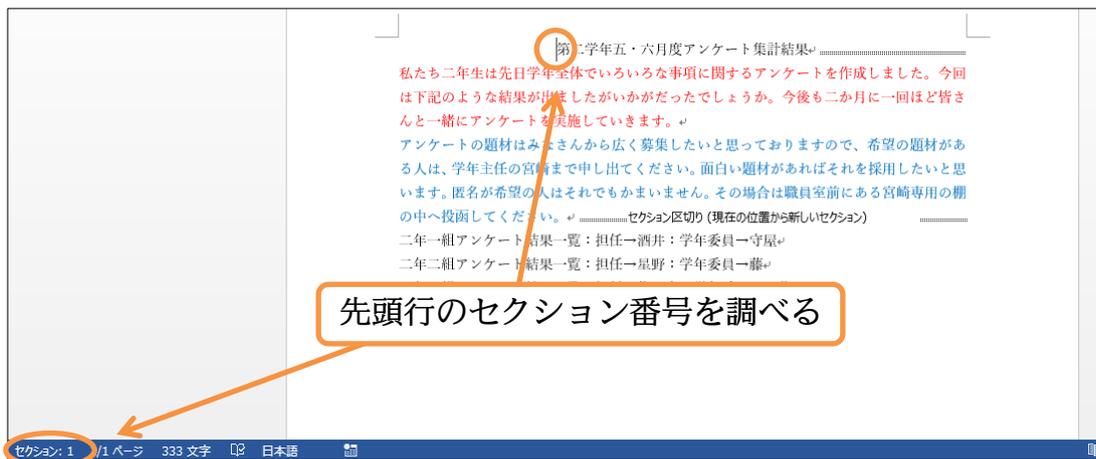
画面下部の[ステータスバー(ページ数が表示されている場所)]で右クリックします。

そこから「セクション」を選択します。

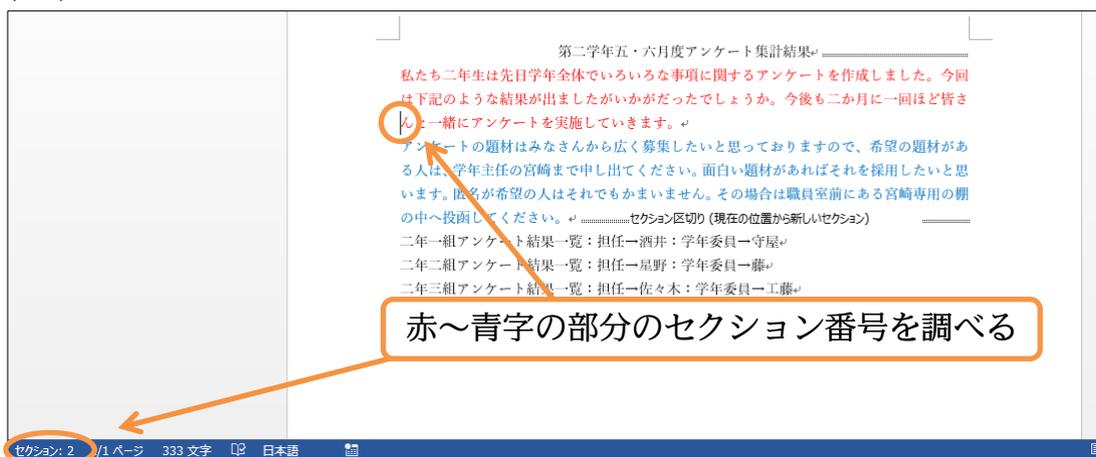
[ステータスバー]で右クリックし「セクション」を選択

| ステータスバーのユーザー設定   | 状態      | 説明          |
|------------------|---------|-------------|
| 書式設定されたページ番号(E)  | 1       |             |
| セクション(E)         | 2       | 二年生は先日学年    |
| ページ番号(P)         | 1/1 ページ | 記のような結果が出   |
| ページでの垂直方向の位置(V)  | 47mm    | 一緒にアンケートを   |
| 行番号(B)           | 3       | アンケートの題材はみな |
| 列(C)             | 13      | は、学年主任の宮崎   |
| 文字カウント(W)        | 333 文字  | す。匿名が希望の人   |
| スペル チェックと文庫校正(S) | エラーなし   | 投函してください    |
| 言語(L)            | 日本語     | アンケート結果     |
| 署名(S)            | オフ      | 二組アンケート結果   |
| 情報管理ポリシー(I)      |         | 三組アンケート結果   |
| アクセス許可(E)        |         |             |
| 変更履歴(T)          |         |             |
| CapsLock(K)      | オフ      |             |
| 上書きモード(O)        | 挿入モード   |             |
| 選択モード(D)         |         |             |
| マクロの記録(M)        | 記録停止中   |             |
| アップロード状態(U)      |         |             |
| ドキュメントの更新(L)     | いいえ     |             |
| 表示選択ショートカット(V)   |         |             |
| ズーム スライダー(Z)     |         |             |
| ズーム(Z)           | 100%    |             |

(02)先頭行にカーソルを合わせましょう。ここは「セクション 1」になります。

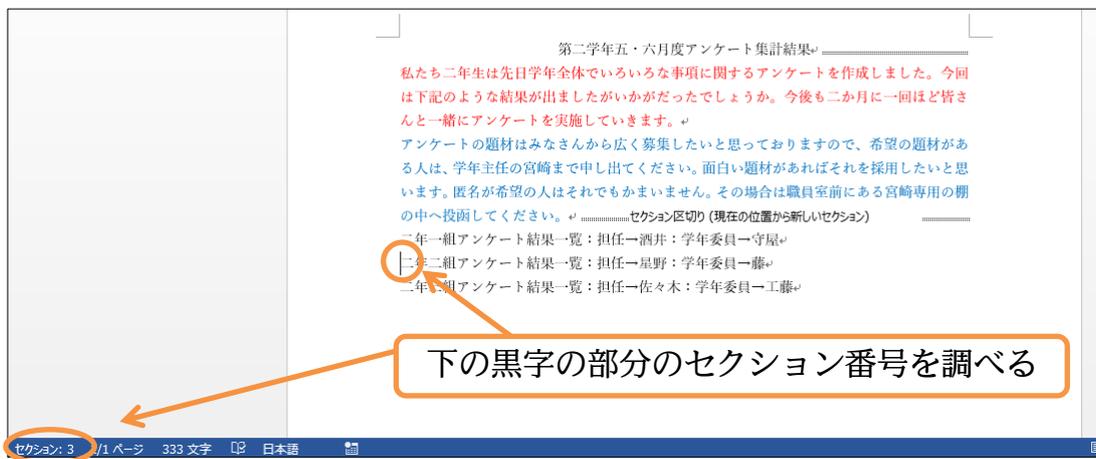


(03)赤字と青字の部分は「セクション 2」になります。



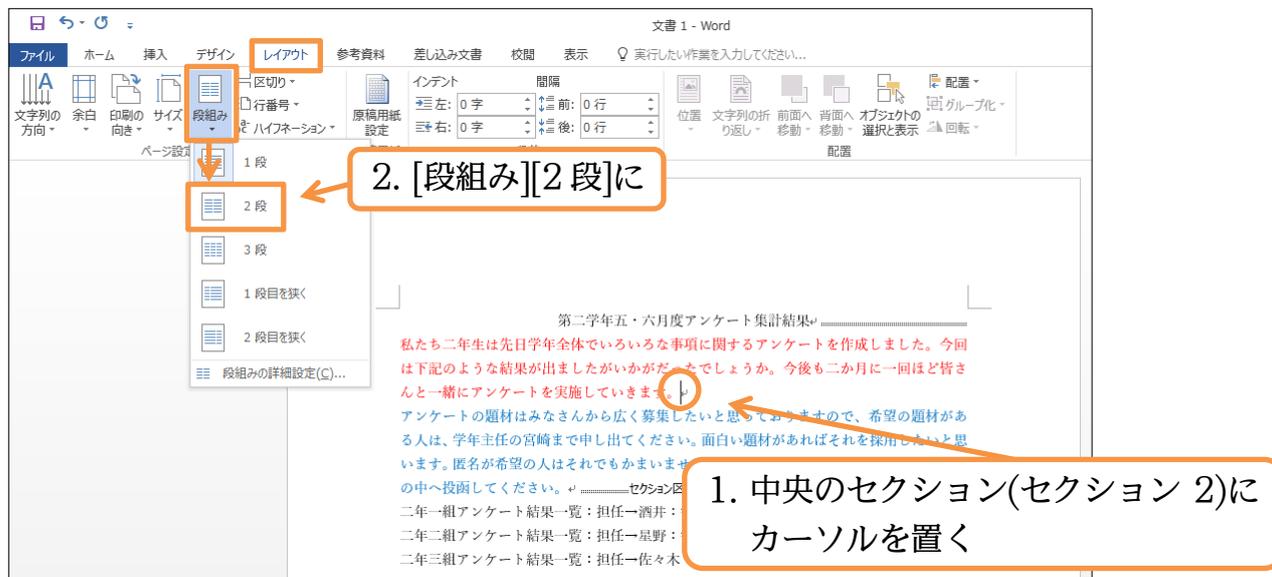
(04)下の黒字の部分は「セクション 3」になります。

次に中央のセクション(セクション 2)のみを 2 段組みにします。

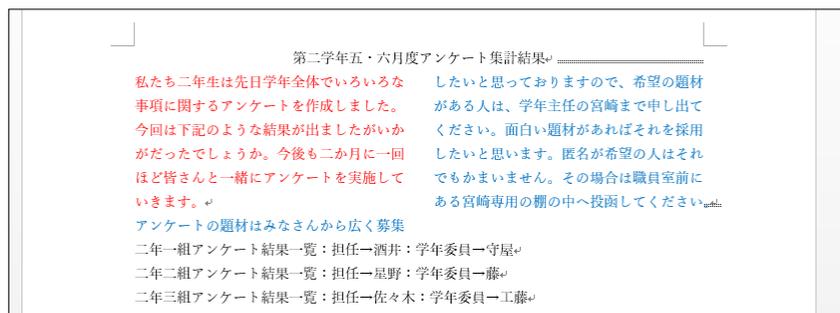


## 02章08節…文書内の一部のセクションのみ段組みにする

(01)文書内にセクション区切りが使われている場合には、段組みの設定をすると「カーソルがあるセクションのみ」が段組み化されます。中央のセクション(セクション 2)にカーソルを置いて[段組み][2 段]にしてください。



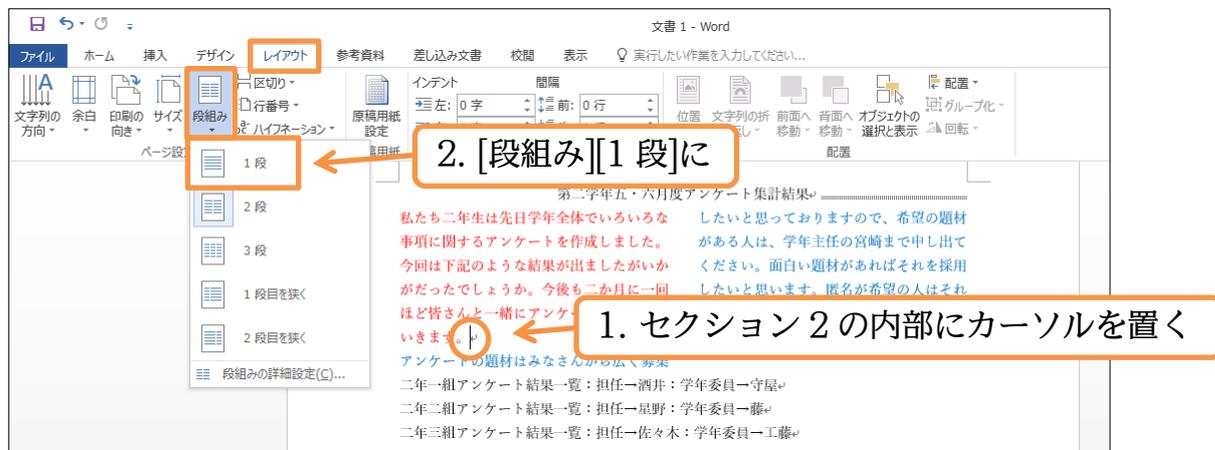
(02)セクション 2 だけが 2 段組みになりました。  
段組みはセクション単位で設定するのです。



## 02章09節…段組みを戻す

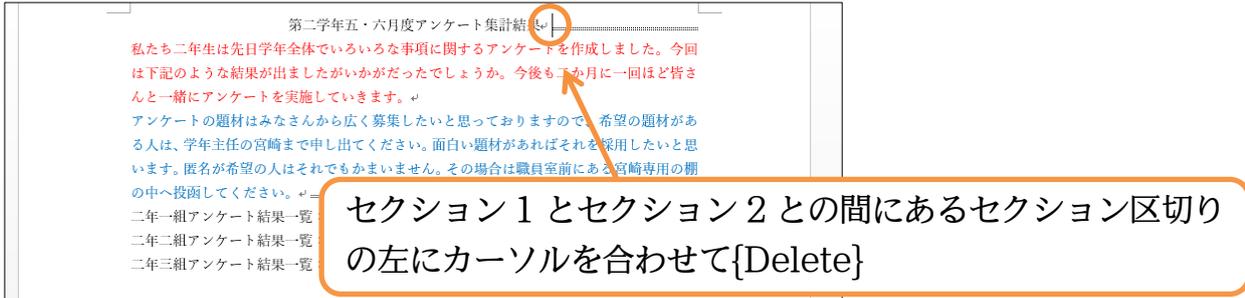
(01)セクション 2 を 1 段組みにします。

セクション 2 内にカーソルを置いて[段組み][1 段]に設定してください。

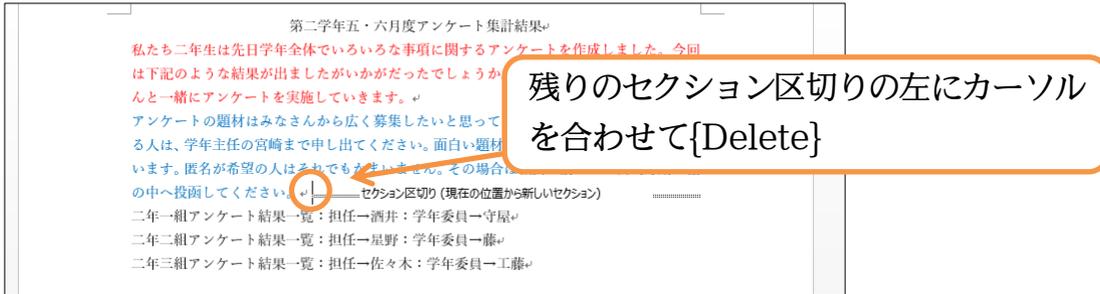


(02)段組みが解除されました。続けてセクション区切りを解除しましょう。

セクション1とセクション2との間にあるセクション区切りの左にカーソルを合わせて{Delete}します。

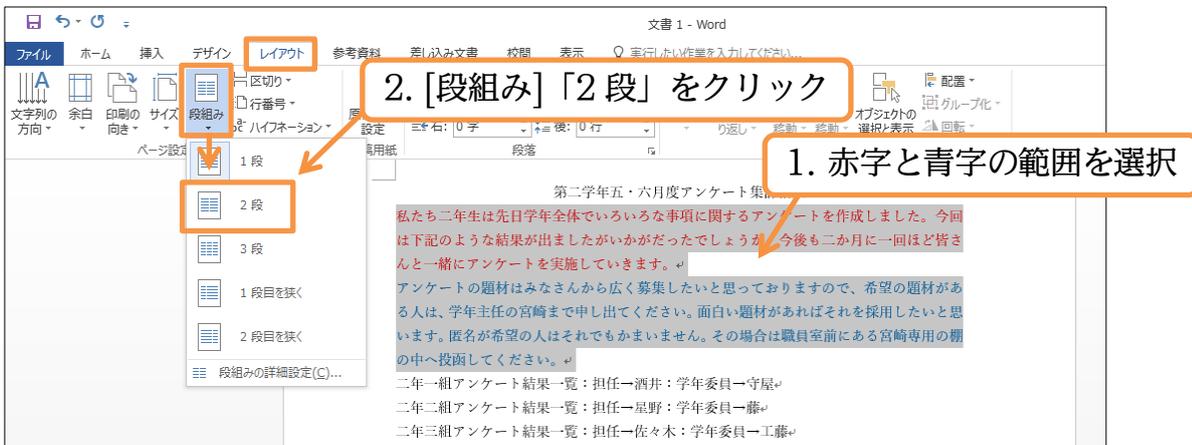


(03)もうひとつの方のセクション区切りも{Delete}で消去してください。

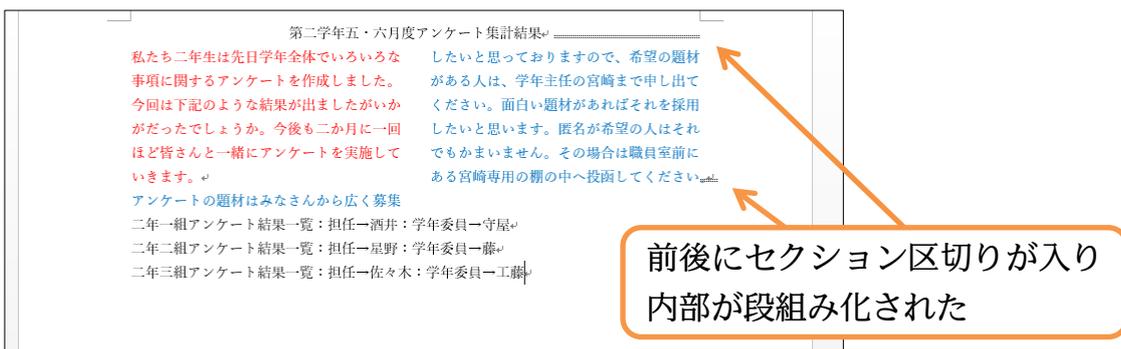


## 02章10節…ワンタッチで[セクション区切り]→[段組み]をする

(01)前述のように一部を段組みにするには、そこを「セクション」として独立させてから段組みをします。この「ある部分をセクション区切りで独立化→段組み」の流れは、一度の操作でも設定することができます。該当箇所を選択してから[段組み]するだけです。赤字と青字の範囲を選択して[段組み]「2段」にします。

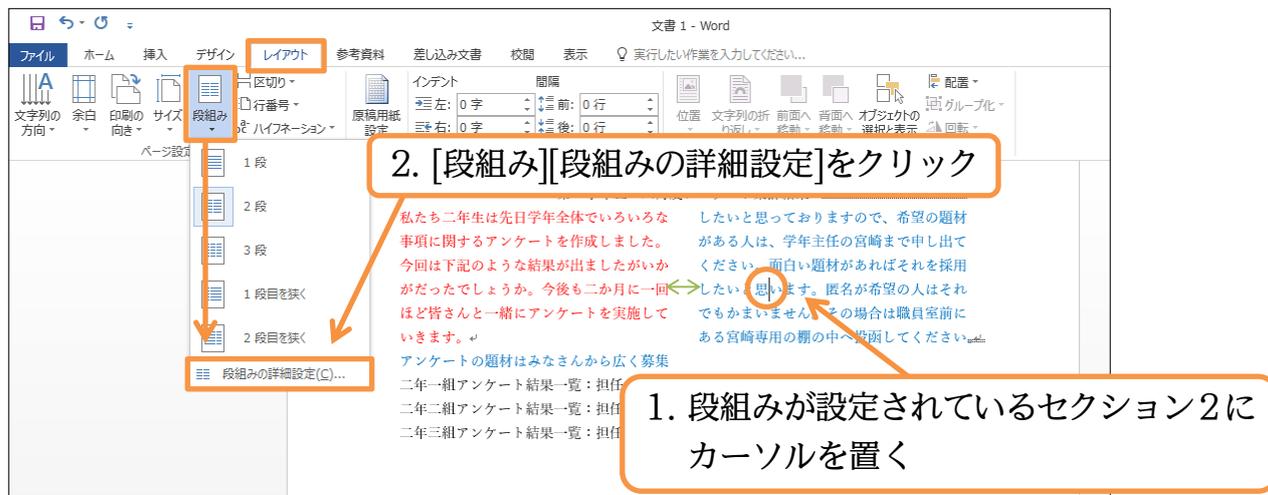


(02)すると選択個所の前後にセクション区切りが挿入され、作成された独立セクションが段組み化されるのです。このように段組み化されていない箇所を段組みにする際は、選択してからボタンを押すだけで完了します。



## 02章11節…段組みの調整

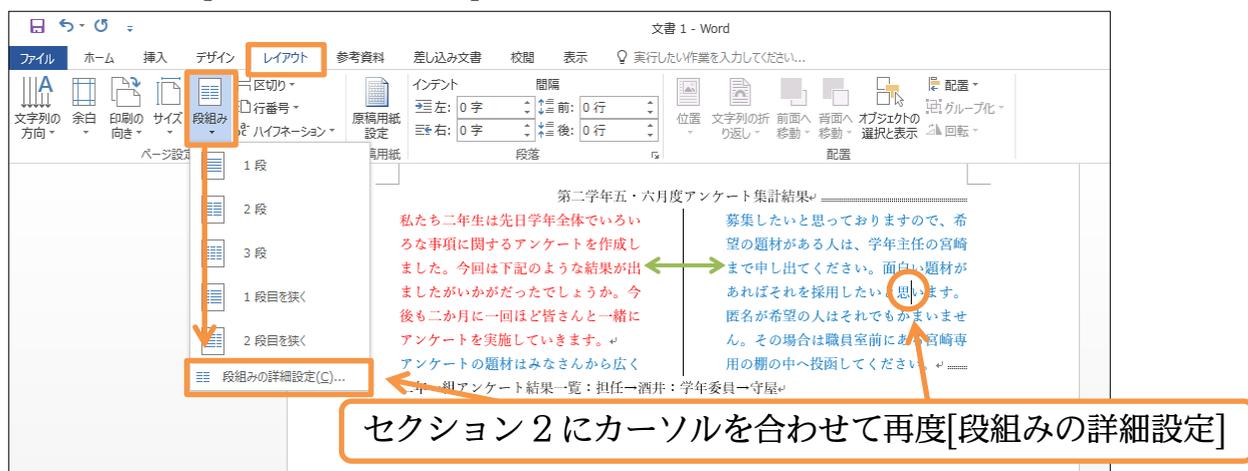
(01)左の段と右の段との間に間隔がありますが、この間隔を広げます。すでにある段組みの状態を調整する場合には、その内部にカーソルを置き[段組み][段組みの詳細設定]を使います。クリックしましょう。



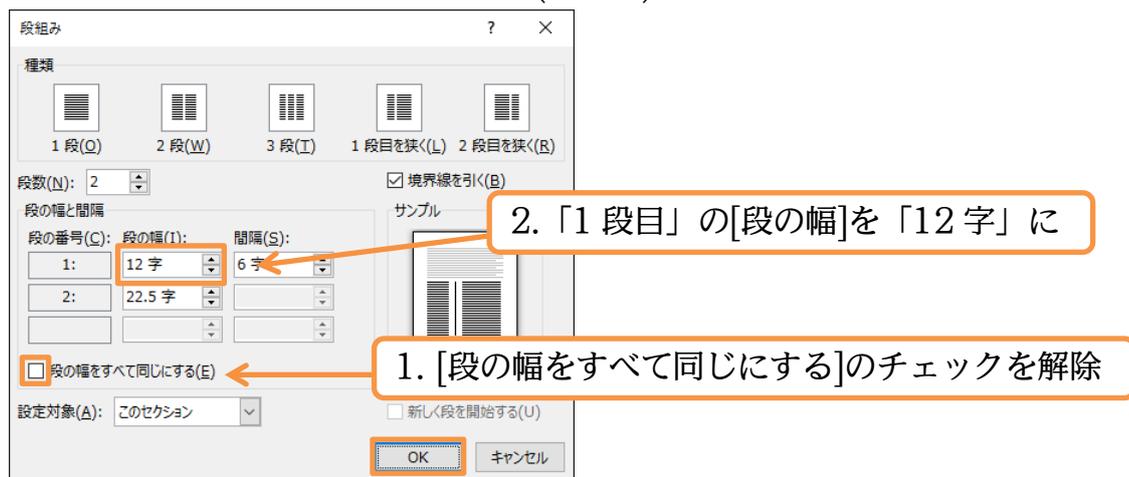
(02)[間隔]を「6字」に広げます。自動的に[段の幅]が狭くなります。また[境界線を引く]にチェックを入れてOKしましょう。段と段とのあいだに境界線が引かれます。



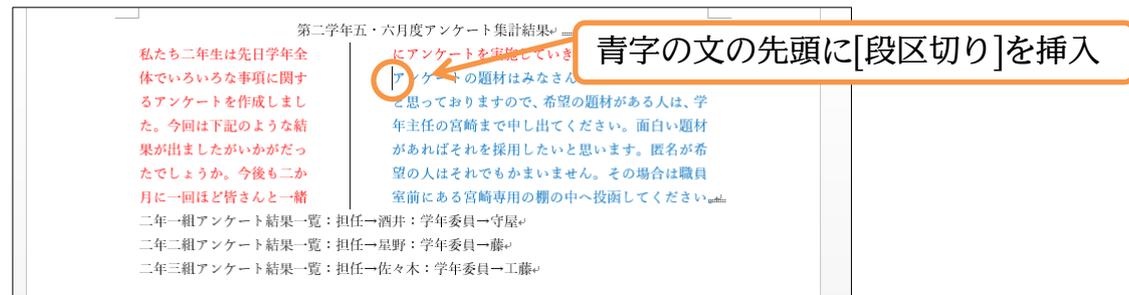
(03)左の段と右の段との間隔が広がりました。さて今度は、左の段のみの幅を縮めます。もう一度[段組みの詳細設定]を使います。



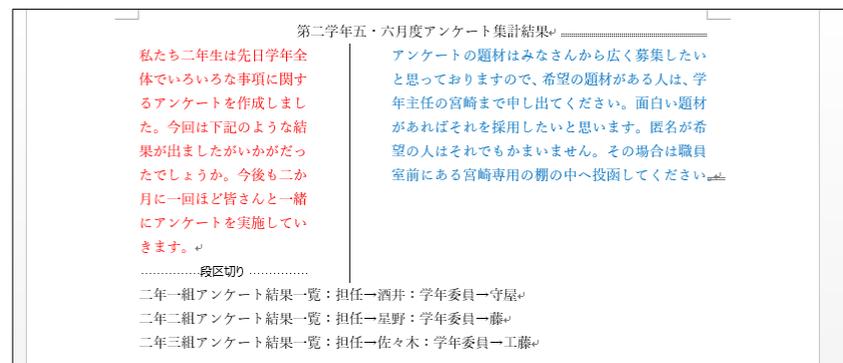
(04)左と右とで異なる幅を使用する場合には、まず[段の幅をすべて同じにする]のチェックを解除します。その状態で「1 段目」(左の段)の[段の幅]を「12 字」に縮めてから OK してください。自動的に 2 段目(右の段)の幅は広がります。



(05)左の段の幅が縮まりました。段組みが設定済みのセクションにカーソルを置いて[段組みの詳細設定]を使えば段の調整ができるのです。また「5 段組み」にするといった操作もできます。あとは青字の文の先頭に[段区切り]を入れましょう。入れた場所が右の段の先頭になります。上の文が左の段へ戻されます。



(06)左の段が赤字部分・右の段が青字部分、という設定が完了しました。



## 02章12節…セクションと行送り・行数

(01)この文章の[行送り]を広げる予定です。フォントが「游明朝」のままでは行送りが適切に制御できないため、全文を「MS ゴシック」としてください。それからセクション1にカーソルがある状態で【レイアウト】[ページ設定]をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Word interface. The 'レイアウト' (Layout) tab is active, and the 'ページ設定' (Page Setup) button is highlighted. A callout box points to the 'レイアウト' tab with the text: 「2.セクション1にカーソルがある状態で【レイアウト】[ページ設定]」. Another callout box points to the 'レイアウト' tab with the text: 「1. 文書全体のフォントを「MS ゴシック」に」. A third callout box points to the document text with the text: 「「游明朝・游ゴシック・メイリオ」では行送りが適切に制御できないためフォントを変更している」. The document text includes a section header 「第二学年五・六月度アンケート集計結果」 and several paragraphs of text.

(02)[行送り]を「18pt」から「27pt」に変更しましょう。

The screenshot shows the 'ページ設定' (Page Setup) dialog box. The '文字数と行数' (Characters and Lines) tab is selected. The '行送り' (Line Spacing) section is highlighted, and the '行送り(I):' (Line Spacing) dropdown menu is set to '27 pt'. A callout box points to this dropdown with the text: 「[行送り]を「27pt」に」. The dialog box also shows other settings like '文字数' (Characters) and '行数' (Lines).

(03)ところが行送りは文書全体に反映されません。段組みのために[セクション区切り]を入れると「カーソルがあるセクションのみ」に反映されます(ここではセクション1のみ)。全体に反映させるために再度[ページ設定]ダイアログボックスを表示してください。

The screenshot shows the document text from the previous screenshot. A callout box points to the text with the text: 「「セクション1」にしか行送りが反映されなかった。再度[ページ設定]へ。」. The document text includes a section header 「第二学年五・六月度アンケート集計結果」 and several paragraphs of text.

(04)段組みがある文書内で全体の[行送り・行数]を変更する場合には、[設定対象]を「このセクション」から「文書全体」に変更する必要があります。それから再度[行送り]を「27」としてOKしてください。

2. [行送り]を「27」ptに

1. [設定対象]を「このセクション」から「文書全体」に

(05)一部を段組みにした文書内において全体の[行送り・行数]を調整する際には[設定対象]を「文書全体」にする必要があります。

この章では「セクション」という新しい単位と、「段組み」との関係について学習しました。完成後はこのファイルを閉じましょう(必要に応じて保存)。

## 02章13節…まとめ

- ◆ 「段組み」は「セクション」という特別な単位に対して設定します。
- ◆ [セクション]は「セクション区切り」という印刷されない区切り記号によって分けられます。
- ◆ 段組みを設定したい場合には、対象範囲の前後に「セクション区切り」が必要です。
- ◆ 2段目以降の先頭個所を指定する際には[段区切り]を使います。
- ◆ [セクション区切り]を使ってから[行送り・行数]を制御する際には[設定対象]に注意します。

## 02章14節…練習問題

①) 資格取得奨励金：A4・余白…標準。予想完成時間⇒\_\_\_\_分.実際⇒\_\_\_\_分

タイトルのフォントサイズは48ptであり、それ以外のフォントサイズは16ptです。  
行送りは32～34pt程度とします。

# 資格取得奨励金

## 概要

弊社では、社員の皆様の自己啓発のサポートとして各種資格試験などの取得に対し必要な費用を最大全額支給致します。

また難易度の高い資格試験に対しては取得時に報奨金が支給されます。

なお、報奨金受給後18ヶ月以内に退職する場合は退職金が減額になるなどの規定がありますので、申請前に必ず別紙「自己啓発給付金受給規定」に目を通してください。

## 給付要件

勤続年数が8年以上の社員には全額支給されます。以下5年以上8割、3年以上5割、それ以下の社員のみなさまには3割が支給されます。

何度でも申請が可能です。

## 書類の申請

申請書類は、費用が発生する7日前までに申請する必要があります。

②) お勧めメニュー：A4・余白…標準。予想完成時間⇒ \_\_\_\_\_分.実際⇒ \_\_\_\_\_分

左の段の幅は「11字」です。

## 当店のお勧めメニュー

当店で人気のメニューです。

すべてセットメニューにすることができます。

セットメニューにする場合には「¥250増し」となります。

セットにすると、スープとサラダおよびデザートが付きます。

海鮮ヤキソバ . . . . . ¥740

マーボーチャーハン . . . . . ¥930

特盛海老餃子 . . . . . ¥630

餡かけおこげ . . . . . ¥950

ニラ玉丼 . . . . . ¥750

回鍋肉 . . . . . ¥700

トリソバ . . . . . ¥680

## 今月の特別メニュー

特別メニューは毎月変わります。

メニューは品切れの場合がございます。詳しくは店員におたずねください。

苺杏仁 . . . . . ¥280

冷やし海老そば . . . . . ¥1000

豚角煮飯 . . . . . ¥860

いくらちらし . . . . . ¥950

マグロレタス包み . . . . . ¥520

小海老春巻き . . . . . ¥430